



### ヘイケボタル [ *Luciola lateralis* ]

夏の風物詩として、古くから日本人に親しまれてきた蛍。  
北海道で夜行性の蛍と言えば、このヘイケボタルだけである。

属名の *Luciola* は、光を司る悪魔ルシファーが語源とされ、  
海外では、その存在が少し不気味なものと考えられていることを  
窺い知ることができる。

安定した水質と緩やかな流れの残る釧路湿原では、今年も  
多くの蛍が、夜の湿原を彩った。



## 塘路フィールドノート【7/15~8/14】

### 【野鳥】

7月は長雨続きで野鳥の囀りもまばらでした。そんな中、野鳥観察にもなかなか行く気になれないでしたが、気が付けば幼鳥たちは、いつの間にか立派に成長しており、厳しい自然の中で生き抜こうと懸命であった。



アカエリカイツブリ (サルルントー)  
親鳥が幼鳥にエサ取りのレッスンをしていた。サルルン展望台から確認。



アカゲラ (サルルントー)  
こちらは今年巣立った若鳥と思われる。自分の力で材内の昆虫を懸命に探していた。



ノビタキ (サルルントー)  
湿原草原でよく見かけるヒタキの仲間。この個体はオス。雌雄異色。



コサメビタキ (サルルントー)  
コゲラと一緒に行動していた幼鳥。羽根の配色が似ていて仲間だと思ったのだろうか



キセキレイ (塘路湖畔)  
塘路湖南岸ではあまり見かけないセキレイ。林道の水溜りに集まる蝶を狙っていた。



オジロワシ (塘路湖畔)  
湖畔の森の中で、湖面を見つめていた。基本は冬鳥だが、塘路湖には留鳥も多い。

## 【植物】

今年の7月は雨が多く三湖の水位が高くなっています。ミズオトギリは水没し、見事な水中花になっていました。8月に入っても水位が高く、塘路湖干潟の植生に影響がないか心配です。



クサレダマ (草連玉)

まるで花火が弾けているような、存在感のある黄色い花をつけて、草むらを賑わせる。



エゾミソハギ (蝦夷襖萩)

水辺に群生し、見事な赤い花を咲かせていた。ミソハギ科の花。



ネムロコウホネ (根室河骨)

雨にも負けず、ヒシにも負けず、黄色い立派な花を咲かせていた。スイレンの仲間。



エゾベニヒツジグサ (蝦夷紅未草)

未(ひつじ)の刻に咲くことから未草の名前があるが、この日は15時過ぎに咲いた。



トモエソウ (巴草)

花弁が巴(ともえ)型に開く大型の花。オトギリソウの仲間。



ミズオトギリ (水弟切)

夕刻に近づくと水辺で桃色の可憐な花を開く、水辺に生育するオトギリソウの仲間。

## 【昆虫】

夏のトンボが最盛期を迎える中、その陰に隠れて湖畔に暮らす昆虫たちを探してみた。



コエゾゼミ (塘路湖畔)

夏を代表するセミの仲間。鳴き声はジューツという継続的な声で、あまり目立たない。



ピリカチビゴミムシ (塘路湖畔)

かつて塘路湖で見つかった塘路湖に所縁のある小さなゴミムシ。水辺の葦に暮らす。



ミズカマキリ (釧路湿原)

ヒシの葉の上で小枝に擬態しながら、イトトンボやハナアブなどがくるのを待ち構える。

## ◎ 夏の自然散策を満喫

夏の塘路湖畔で散策会を行った。この時期は湖面に降り立つ水鳥も少なく、主に草花やそこに訪花する昆虫の観察がメインとなりました。湖畔遊歩道では様々な昆虫トラップ (FIT・PT・バナナトラップ) の仕組みについて解説し、実際にトラップを訪った昆虫を参加者全員で観察しました。マサノヤノシマ遺跡では釧路湿原の成り立ちや、何千年も昔の湖畔(海辺)に暮らした人々が、どのような生活をしていたのかを想像してもらいました。



確認種 40種類 参加者 12名

湖畔に暮らす昆虫について解説

## ◎ 森のキノコの役割について勉強

8月6日(土)、夏のシラルトロ湖畔でキノコの観察会を行いました。冒頭に講師からキノコが森で果たす役割について解説が行われました。種によって役割が決まっており、枯れた木を腐らせて土に還したり、健全な木の生育を助け共生関係を持ったりと、それぞれのキノコが森でどのように働いているのかについて解説されました。また、キノコの同定のポイントについても、様々な方法が紹介され、参加者は不思議な形をしたキノコを観察したり、スマホで撮影したりして、キノコについて熱心に勉強をしていました。

確認種 計 20 種類以上 参加者 9 名



## 9月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### 秋のキノコ観察会

[日 時] 9月3日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 茅沼蝶の森(集合場所はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### アイヌの自然観～植物編～

[日 時] 9月4日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター  
(0154-65-2323) まで

◆日出・日入時間 7/15(3:56,19:00). 7/31(4:11,18:45). 8/14(4:27,18:25)

～編集後記～

■釧路湿原での勤務もようやく一か月を過ぎ、暑かったりと思えば急に気温が下がったり、気温の寒暖差と格闘しながら体調維持が大変です。8月に入って塘路湖周辺ではトンボの飛翔がかなり増えている印象。夏真っ盛り、と思っていると数週間後には以前働いていた山から紅葉の便りが届きます。大雪山(東大雪エリア)から知床(羅臼)、大雪山(層雲峡)を経て、三番目の国立公園となります。よろしくお願ひします。  
(7/1より勤務・三浦)

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野  
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004  
E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日  
入館無料